

学校教育目標

- ・日本国憲法、教育基本法
- ・小学校学習指導要領
- ・学校図書館法

- ◎考える子ども
- 助け合う子ども
- じょうぶな子ども
- 進んで取り組む子ども

読書通帳や読書郵便の取り組みに全校で取り組む等、意欲的に読書をしている一方で、平行読書をしたり、調べ学習をしたりする機会が少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、豊かな心を育むとともに、読書活動や読書環境の充実を図る。

ねらい

- ①おすすめの本を紹介しあったり読書通帳をつけたりする活動を通して、児童が図書室を利用し、すすんで読書をしようとする気持ちを高める。
- ②区立図書館職員と連携し、各教科と関連して本で学ぶ力や探究心を育て、本を活用する能力や態度、新しい知識と出会う喜びを大切にする。
- ③探究心を育てるとともに、自分の考えを伝えたり、表現したりする。

指導の重点

- ①学校応援団、区立図書館職員とともに学校図書館の整備を行い、各教科の授業で有効に活用できる図書館にする。
- ②司書教諭を中心とした利用指導を充実させ、調べ学習や読書活動をより一層充実させる。
- ③他教科と関連しながら、資料の収集・引用・要約する力を養い、自分の考えを伝えたり表現したりする力を育てる。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・登場人物やあらすじの細かい部分にも気を付けて読むことができる。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて本を選び、自分の決めた課題について調べることができる。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・本や図鑑を用いて、自分の決めた課題について調べることができる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・調べたことについて自分の考えをもち、工夫してまとめることができる。

具体的な取組

〔各教科〕

- 図書館を活用し、課題解決学習、調べ学習、グループ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
- 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕

- 各学期の読書週間の実施、全校読書貯金の実施、目標達成者の表彰。
- 読み聞かせや朝読書などによる読書の習慣化。集団貸出しの実施。
- 学校図書館を利用した読書科コンクールの実施。

〔総合的な学習の時間〕

- 課題の探究、解決に多様な資料を利用する力を育てる。
- 学習場面で適切な資料を利用する力を育てる。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔特別の教科 道徳〕

- 様々な資料を通して、道徳的心情を豊かにし、楽しい学校生活が送れるようにする。
- 様々な資料を通して、自分の考えと違う考えを知り、尊重したり判断したりする力を育成する。

〔家庭・地域・区立図書館職員との連携〕

- 学校応援団による読み聞かせや地域図書館を活用したブックトーク等、多様な活動を通して読書科の充実を図る。
- 学校応援団と学校図書館の整備を行い、各教科の授業で有効に活用できる図書館にする。

朝読・昼読の推進

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実施

図書環境の整備・充実

